

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

2349*JA

P

取扱説明書

G-SHOCK

2349

このたびは弊社製品をお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。
未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取
扱いただきますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与
えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくた
めにも、ご納得のゆくまでお試しください。

本機の特長

●アナログ&デジタル時計

アナログとデジタル時計で時刻を表わします。

●ELバックライト

暗いところでもボタン1つで表示を明るく照らします。

●ワールドタイム表示

世界29タイムゾーン(27都市)の時刻および世界標準時(GMT)の時
刻を表示させることができます。

●テレメモ機能

最大30件の名前、電話番号を記憶します。

●アラーム・時報報知

任意の時刻にアラームを鳴らすことや、毎正時に時報を鳴らすことがで
きます。

●ストップウォッチ機能

1/100秒単位で59分59秒99まで計測できます。




安全上のご注意

絵表示について この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示の例**
-  △記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)
 -  ⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)
 -  ●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。
※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等
 - バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



⚠注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計脱着の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

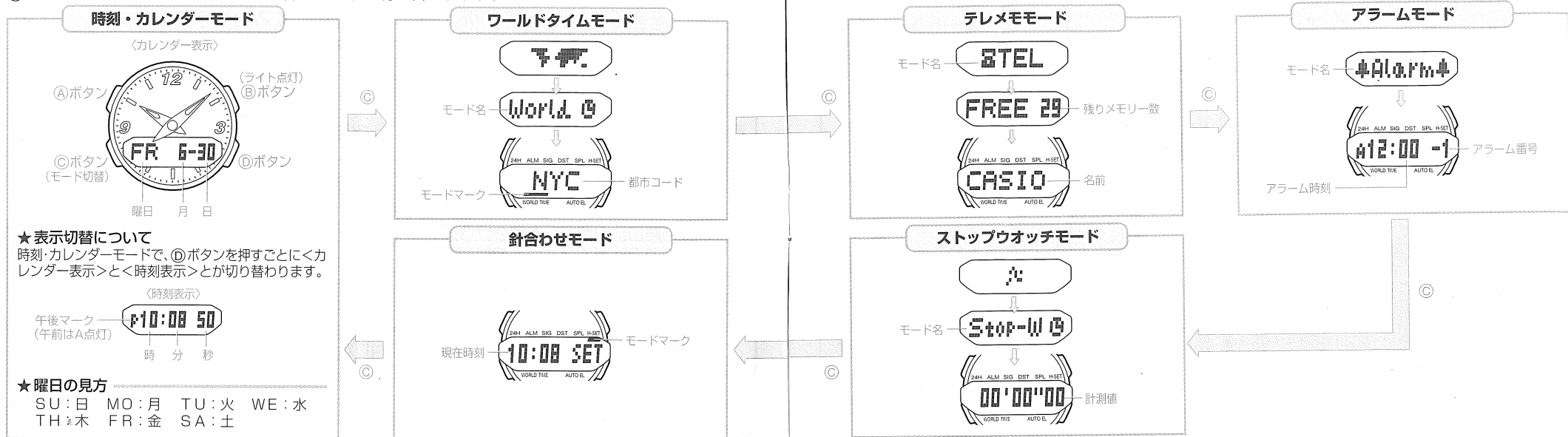
目次

安全上のご注意	表紙裏面
操作のしくみと表示の見方	4
表示照明用 EL バックライトについて	6
ワールドタイムの使い方	8
テレメモ機能の使い方	10
アラーム・時報の使い方	13
ストップウォッチの使い方	15
時刻・カレンダーの合わせ方	16

製品仕様	19
備忘録	24
ご使用上の注意	25
お手入れについて	27
電池交換について	27

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すと以下の順でデジタル部のモードが切り替わります。



表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部には EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して発光させる

～手動発光～

ⓑ ボタンを押します

→ ⓑ ボタンを押すと約 1.5 秒間デジタル部が発光します。



- ※ ⓑ ボタンを 5 秒押し続けるとその時点で発光が消えます。
- ※ オートライト OFF のときも ⓑ ボタンを押すと発光します。

■ 時計を傾けて発光させる

～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で、時刻やストップウォッチの計測値などを見るときに大変便利です。

オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾げるだけでデジタル部が約 1.5 秒間発光します。

準備：時刻・カレンダーモードのとき ⓐ ボタンを 1～2 秒間押し続けて、オートライト ON（オートライト ON マーク点灯）にします。



オートライト ON マーク

〈オートライト作動します〉

〈オートライト作動しません〉

- ※ オートライト ON のとき、ⓐ ボタンを 1～2 秒間押し続けるとオートライト OFF（オートライト ON マーク不点灯）に戻ります。
- ※ オートライト ON/OFF 設定は、時刻・カレンダーモードのときのみ行なえます。

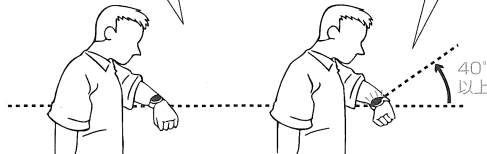
● 文字板を発光させる

①

時計を腕にはめ、水平にします

②

水平状態から、表示が見えるように約 40° 傾けます



※ オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。

※ 文字板の左右（3 時～9 時方向）の角度を ± 15° 以内にしておいてください。15° 以上傾いていると発光しにくくなります。



〈EL 発光についてのご注意〉

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中に ⓑ ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、「オートライト ON マーク」を点灯させてから約 6 時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に「オートライト ON マーク」が消え、オートライト OFF になります。※ 引き続きオートライトを作動させたいときは、再度 ⓐ ボタンを 1～2 秒間押しして「オートライト ON マーク」を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。（19 ページ「製品仕様」参照）
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約 1.5 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ず OFF にしておいてください。
- ※ 時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

ワールドタイムの使い方

◎ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン(27都市)の時刻および世界標準時(GMT)の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市コードを表示します。

※時刻・カレンダーモードでホームタイムおよび都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動しています。

※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

(2) ワールドタイムを見る

Ⓐ ボタンを押します

→ 選ばれている都市の時刻を表示します。

※ ⓐ ボタンを押すと都市コード表示に戻ります。



■ サマータイムの設定

(1) ワールドタイムモードのとき、ⓐ ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

(2) Ⓐ ボタンを約2秒間押します

→ DST ON マークが点灯して、サマータイム設定*になります。

*サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。DSTはサマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。



※DST ON マークが点灯しているときに、Ⓐ ボタンを約2秒間押すと通常の時刻に戻ります。

※各都市ごとにサマータイムの設定ができます。

※「GMT」表示のときは、サマータイム設定はできません。

■ 都市のサーチ

(1) 見たい都市コードを探す

ワールドタイムモードのとき、ⓐ ボタンを押します



→ ⓐ ボタンを押すごとに「都市コード」が進みます。

※押し続けると早送りします。

※都市コードのないタイムゾーンは、時差を表示します。

■ 都市コード一覧

コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
---		-11	パゴパゴ	CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、 バイルート
HNL	ホノルル	-10	パペーテ	JRS	エルサレム	+3	クウェート
ANC	アンカレジ	-9	ノーム	JED	ジッダ	+3.5	
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、 ラスベガス、シアトル	THR	テヘラン	+4	アブダビ
DEN	デンバー	-7	エルパソ、エドモントン	DXB	ドバイ	+4.5	
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、 メキシコシティ	KBL	カブール	+5	
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、 マイアミ、ボストン	KHI	カラチ	+5.5	
CCS	カラカス	-4	サンティアゴ	DEL	デリー	+6	
RIO	リオデジャネイロ	-3	モンテビデオ、 ブエノスアイレス	DAC	ダッカ	+6.5	
---		-2		RGN	ヤンゴン	+7	ジャカルタ、ハノイ
---		-1	アソレス諸島	BKK	バンコク	+8	シンガポール、 クアラルンプール、 北京、台北、マニラ
GMT		±0	<グリニッジ標準時>	HKG	ホンコン (香港)	+9	ソウル、平壤
LON	ロンドン	±0	ダブリン	TYO	東京	+9.5	
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリッド、 フランクフルト	ADL	アデレード	+10	グアム
				SYD	シドニー	+11	ポートビラ
				NOU	ヌーメア	+12	クライストチャーチ
				WLG	ウェリントン		

※この表は1999年12月現在作成のものです。

※この表の時差はグリニッジ標準時(協定世界時:UTC)を基準としたものです。

テレメモ機能の使い方 ㉔ ボタンを押して、テレメモモードにします。

テレメモモードでは、1件につき名前8文字、電話番号14桁を最大30件メモリーできます。

※テレメモモードに切り替えると、残りメモリー数を表示後、前回このモードで最後に見た名前を表示します。

※データを入力すると、名前順に並び替え（自動ソート*）が行なわれます。

*自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順はアルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（-、/、:）です。

■ テレメモデータのサーチ

(1) 見たい表示（名前）を探す

テレメモモードのとき、**㉔** ボタンを押します

⇒ **㉔** ボタンを押すごとに名前順に進みます。

※押し続けると早送りします。



名前

(2) 電話番号を見る

㉔ ボタンを押します

⇒ 電話番号を表示します。

※ **㉔** ボタンを押すと名前表示に戻ります。

※名前が7文字以上、電話番号が10桁以上のときは、右から左に流れるスクロール表示となります。（データの最後に「◀」マークが付きま）す。なお、スクロールは2～3分後に止まります。



電話番号

■ テレメモデータを入力する

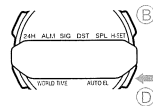
(1) 空きページを選ぶ

テレメモモードのとき、**㉔** ボタンを押して、空きページを表示させます

※ **㉔** ボタンと **㉔** ボタンを同時に押すと、空きページを表示します。

※データがすでに30件メモリーされているときは不要なデータを消去しておいてください。（「■ テレメモデータを消去する」参照）

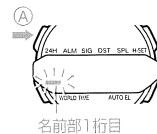
（空きページ）



(2) セット状態にする

㉔ ボタンを約2秒間押しします

⇒ 名前部1桁目が点滅します。



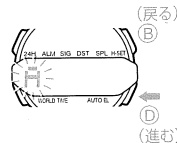
名前部1桁目

(3) 点滅箇所のセット

㉔ または **㉔** ボタンを押します

⇒ **㉔** ボタンを押すごとに点滅箇所（数字）が進み、**㉔** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **㉔** ・ **㉔** ボタンとも、押し続けると早送りします。

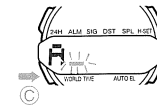


進む

(4) セット箇所を選ぶ

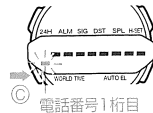
㉔ ボタンを押します

⇒ **㉔** ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目～8桁目→電話番号1桁目～14桁目→名前部1桁目…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



㉔

※名前部の入力が入りがすべて終わりましたら、**㉔** ボタンを押して点滅箇所を電話番号部に移動させます。（右図）



電話番号1桁目

(3)～(4)の操作を繰り返して、名前・電話番号を入力していきます。

※名前は最大8文字、電話番号は最大14桁まで入力できます。

※入力できる文字は、名前部セットのときは（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（-、/、:）で、番号部セットのときは-、0～9、（空白）です。

(5) セットを終わる

㉔ ボタンを押します

⇒ 空きページが1件以上あるときは、ソート表示後、セット表示となり、続けて他のデータを入力することができます。もう一度 **㉔** ボタンを押すと、点滅が止まります。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ テレメモデータを修正する

- (1) ① ボタンを押して修正したいページを選びます。
- (2) ② ボタンを約2秒間押します。
→ 名前部の1桁目が点滅します。
- (3) 修正したい部分まで ③ ボタンを押して点滅を送り、④ または ⑤ ボタンを押して文字(数字)を修正します。
- (4) 修正が終わりましたら、② ボタンを押します。

■ テレメモデータを消去する

- (1) ① ボタンを押して消去したいページを選びます。
- (2) ② ボタンを約2秒間押します。
→ 名前部の1桁目が点滅します。
- (3) ③ ボタンと ④ ボタンを同時に押します。
→ "CLEAR" 表示後、データが1件消去されます。
※このとき引き続き他のデータを入力することができます。
- (4) 消去が終わりましたら、② ボタンを押します。



アラーム・時報の使い方 ① ボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、時分を設定できるアラームが5本あります。設定した時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

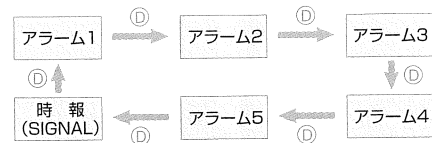
※アラーム・時報はデジタル部のホームタイムに合わせて鳴ります。

■ アラーム時刻のセット

(1) アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、
① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたアラーム番号を選びます。

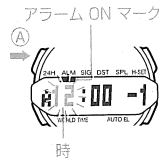


(2) セット状態にする

② ボタンを約2秒間押します

→ アラーム時刻の「時」が点滅します。

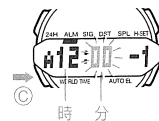
※このとき、アラームが自動的にONになり、アラームONマークが点灯します。



(3) セット箇所を選ぶ

③ ボタンを押します

→ ③ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせた箇所を点滅させます。

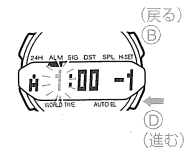


(4) 点滅箇所のセット

④ または ⑤ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、⑤ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ④・⑤ ボタンとも、押し続けると早送りします。



(3)~(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。
※ホームタイムを24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(5) セットを終わる

① ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ 鳴っているアラーム音を止めるには
いずれかのボタンを押します。

■ モニターアラーム

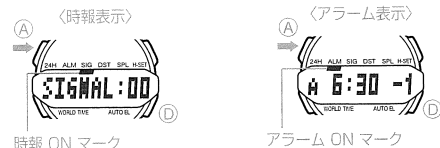
アラームモードのとき、① ボタンを約2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■ アラーム・時報のON/OFF設定

準備：アラームモードのとき、① ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報 (SIGNAL) 表示を選びます。

① ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとに、マークが点灯/消灯します。それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。



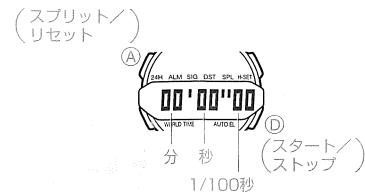
ストップウォッチの使い方 ② ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99 (60分計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、② ボタンを押します

⇒ ② ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。



- ★計測中に② ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。(スプリットマーク点灯)
- ★計測終了後② ボタンを押すと、計測値が0に戻ります。(リセット)

● 通常計測



<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに② ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム (途中経過時間) の計測



● 1・2着同時計測



時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻・カレンダーモードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方 (ホームタイム都市の設定)

(1) セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき、**Ⓐ** ボタンを約2秒間押します

⇒ 「秒」が点滅します。



(2) 秒合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて **Ⓓ** ボタンを押します

⇒ 「00秒」からスタートします。



※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)

(3) サマータイム (DST) のON/OFFを選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

⇒ ONまたはOFFが点滅します。

※OFF = 通常時間
ON = サマータイム設定



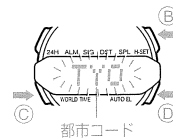
Ⓓ ボタンを押します

⇒ ONまたはOFFが切り替わります。

(4) ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

⇒ 「都市コード」が点滅します。



Ⓓ または **Ⓑ** ボタンを押します

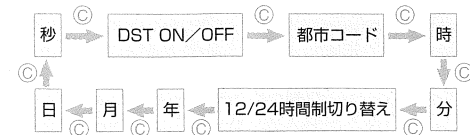
⇒ **Ⓓ** ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、**Ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。(「都市コード一覧」参照)

※**Ⓓ**・**Ⓑ** ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ホームタイム都市を設定してから、時刻セットを行なってください。

(5) 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ** ボタンを押します

⇒ **Ⓒ** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. **Ⓓ** または **Ⓑ** ボタンを押します

⇒ **Ⓓ** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**Ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **Ⓓ**・**Ⓑ** ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「12/24時間制切り替え」のときは、**Ⓓ** ボタンを押すごとに12時間制表示「12hour」と24時間制表示「24hour」とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P)、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(6) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アナログ（針）部の合わせ方

準備：◎ ボタンを押して、針合わせモードにします。

(1) セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

⇒ "H-SET" マークが点滅して、セット状態になります。



(2) Ⓒ ボタンを押します

⇒ 針が正転方向（進む方向）に進みますので、時刻を合わせます。

※ Ⓒ ボタンを押すと、1/3分（20秒）進みます。
※ 押し続けると早く進みます。（針は逆方向には進みません）

(3) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を1ステップか2ステップ進めてください。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

精度: 平均月差±15秒以内

基本機能: 時刻表示
アナログ部=時・分（2針）
デジタル部=時・分・秒、午前(A)/午後(P)/24時間制表示

カレンダー表示

月・日・曜日、フルオートカレンダー（2000～2039年）

ワールドタイム機能: 世界29タイムゾーン（27都市）の時刻、世界標準時（GMT）の時刻を表示、サマータイム設定機能

テレメモ機能: 名前（8文字）と電話番号（14桁）を最大30件メモリー

アラーム機能: 時刻アラーム 5本
セット単位=時・分
電子音=20秒間

時報 毎正時に電子音で報時

ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒
計測範囲=59分59秒99（60分計）

計測機能= 通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、モニターアラーム、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、オートEL

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子 CMOS-LSI

使用電池: CR-1616（電池別途販売）

電池寿命: 約2年
（電子音20秒間/日、ライト1.5秒間/日使用した場合）

※ ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。

- 1日当たりライト15秒間使用…約14ヶ月
- 1日当たりライト30秒間使用…約10ヶ月

memo

memo

memo

memo

■薬品類

- 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 長時間、直射日光に当てますと、色あせる場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくとし色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておく、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータは備忘録やノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
 - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
 - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
 - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
 - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
 - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行いません。（防水検査は別途有料となります）